

1 付録

1.1 感染症モデル

授業では SIS モデルや SIR モデルなどが紹介された。これらは t を陽に含まない連立 1 階常微分方程式、すなわち力学系である。いずれの場合も、未知関数の総和が一定であるという条件を利用して実質的に 1 本あるいは 2 本の連立常微分方程式に帰着させるのが基本方針である。

参考文献